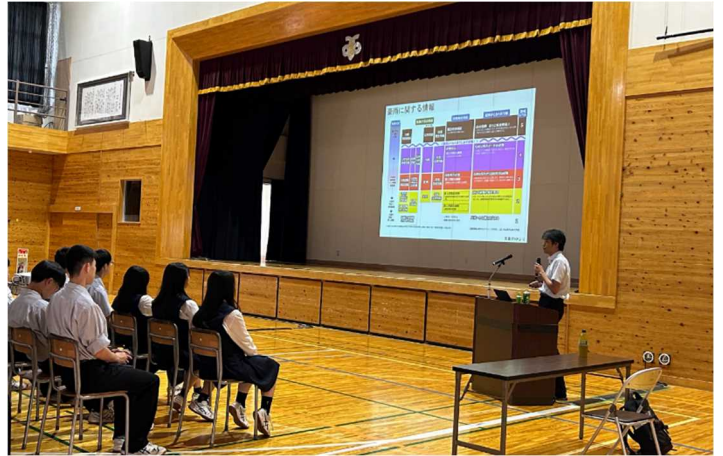


講演会 「防災からはじめる地域理解」

- 1 目的 あおもり創造学の一環で、地元地域への理解を深める目的で行う。防災のための基礎的な内容に加え、下北地域でも起こる可能性のある災害について学び防災意識を深める。
- 2 実施日 令和7年6月25日（水）
- 3 講師 八戸工業大学 迫井 裕樹 教授



4 感想

- ・災害のことを深く知ることができ、予測、予防、対策をしようと思った。
- ・いつ、どこで、どんな事が起こってもいいように、しっかり対策しておく事が大切なんだと思った。
- ・警報や注意報など自分と遠いところに出されていても、自分事のように捉えようと改心した。
- ・防災を学ぶだけでなく、地域全体で意識を高めたり、建築物への対策をしたり、行動に移すことが大事だと学んだ。
- ・課題研究で防災について研究をしているので参考になった。
- ・災害が起きる前に自分たちでハザードマップを確認するなど、備えが大事だと思った。
- ・津波は速いところで時速 800km であり、ほとんどの人が生き残る事ができないと感じた。
- ・人はたった 30cm の波で流されてしまうと知り、思っていたよりも津波は威力が高いのだと思った。